

福井アリーナ(仮称)に係る座談会 議事概要

日 時:令和7年11月20日(木)18:00~18:45

場 所:武生商工会議所 3階会議室

参加者:越前市民、鯖江市民など 35名

対応者:(株)福井アリーナ 福井商工会議所 (株)F プライマル 福井県

【説明概要】

- ・次第に沿った形で進行
- ・(株)福井アリーナが配布資料を基に概要説明を行った後、質疑応答を実施

【質疑応答概要】

(質問者①)

○整備会社の収支計画について、借入金の返済について計上されていないが、計上すべきではないか。

(商工会議所)

○減価償却前利益2.8億円から返済する。借入については、現在、金融機関と協議中であり、毎年の返済額は決定していない。

(質問者②)

○アリーナは公設となっても建設すべき。太田市など全国の成功事例を示すと県民の理解が進むのではないか。

(F プライマル)

○長崎のアリーナが民設民営の成功事例としてされている。軌道修正の速さが民説民営の強みであると言われている。

(質問者③)

○バリアフリーな施設にしてほしい。特に、エレベーター、多目的トイレは基準よりも広くするなど検討してほしい。

(商工会議所)

○バリアフリーの基準は満たすことに加え、実施設計において余裕のある設計も検討したい。

(質問者④)

○積雪対策をどう考えているのか。東公園まで徒歩移動となると除雪費が多額となるが、他の場所にという考えはないのか。

(商工会議所)

○積雪対策の具体策は本日晒すことができる段階ではないが、今後行政と詳細を検討したい。東公園を候補地として、駅から徒歩で来場いただけるよう対策を検討したい。

(質問者⑤)

○県民利用枠と市民利用枠について、1日あたりの金額が高くなる理由は。

(F プライマル)

○県民利用枠は県民だれでも使える日であり、市利用枠は市のイベントでの利用となるなど単純には比較できない。

(質問者⑥)

○賑わいづくりのため、アリーナ整備以外の選択肢はなかったのか。

(県)

○様々な選択肢の中から県都にぎわい協議会においてアリーナ整備が決定されたもの。